



## 平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年10月31日

上場会社名 旭硝子株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5201

URL <http://www.agc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 門松 正宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 川上 真一 TEL: (03)3218-5509

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年1月1日 ~ 平成19年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	1,234,041	2.7	142,142	40.9	137,538	39.7	83,355	29.2
18年12月期第3四半期	1,201,029	8.9	100,868	10.0	98,476	7.9	64,520	1.0
18年12月期	1,620,540	—	136,611	—	134,498	—	44,997	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	71	05	66	83
18年12月期第3四半期	55	01	51	88
18年12月期	38	37	36	61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第3四半期	2,227,167	1,058,364	44.0	834 63
18年12月期第3四半期	2,180,397	1,000,064	41.5	772 15
18年12月期	2,149,546	991,751	42.4	776 26

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第3四半期	162,889	△161,202	6,815	59,432
18年12月期第3四半期	106,809	△135,371	26,333	53,217
18年12月期	173,997	△212,477	35,880	52,627

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
18年12月期	円 銭 8 00	円 銭 8 00	円 銭 16 00
19年12月期(実績)	10 00		
19年12月期(予想)		10 00	20 00

(注) 19年12月期中間期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭  
(注) 19年12月期期末配当金(予想)の内訳 記念配当 2円00銭

## 3. 平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日～平成19年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	1,670,000	3.1	180,000	31.8	170,000	26.4	90,000	100.0	76	69

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
[新規 1社(AGCインベストメント) 除外 0社(社名 )]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【経営成績及び財政状態】 3. その他をご覧ください。]

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

## 経営成績及び財政状態

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 2007年12月期第3四半期の概況（9ヶ月間の累計）

第3四半期までの9ヶ月（2007年1月1日から2007年9月30日まで）の各地域の経済状況を概観しますと、日本経済は、依然として原油をはじめとする各種原材料価格の高騰が続いたものの、設備投資や輸出は増加し、景気は底堅く推移しました。アジアにおいては、中国経済が高い成長を維持し、ASEAN諸国も堅調を維持するとともに、NIEsでは一時減速していたIT・デジタル分野にも需要回復がみられました。欧州においては、ロシア・中東欧の経済は引き続き堅調に推移しました。一方、西欧では景気拡大を牽引してきた輸出と設備投資に一部の国で減速がみられたものの、全体として概ね堅調に推移しました。また、米国経済は、住宅市場の低迷に加え、設備投資の伸びにも鈍化がみられるなど、サブプライムローン問題を発端に景気減速への懸念が強まりました。

当社グループの関連市場におきましては、薄型テレビの需要拡大に伴い、フラットパネルディスプレイ（FPD）用ガラス基板の市況は、TFT液晶用ガラス基板を中心に比較的堅調に推移しました。ガラス事業については、板ガラスの市況は日本及び北米において軟調でしたが、欧州では堅調に推移しました。化学事業では、製品市況が回復しました。

このような状況のなか、当社グループの当9ヶ月の売上高は前年同期比330億円（2.7%）増の12,340億円、営業利益は同413億円（40.9%）増の1,421億円、経常利益は同391億円（39.7%）増の1,375億円、純利益は同188億円（29.2%）増の834億円となりました。

#### (2) 2007年12月期第3四半期セグメント別の概況（9ヶ月間の累計）

##### ○ガラス事業

ガラス事業は、グローバルに事業を展開する建築用などの板ガラス部門と自動車ガラス部門、及び、主に日本国内で事業を展開するガラス繊維製品などのその他ガラス部門から構成されています。

板ガラス部門は、前年同期と比べ増収となりました。ロシアなど新興市場で板ガラスの出荷が旺盛だったことに加え、西欧での需要も堅調に推移しました。一方、日本及び北米では住宅着工戸数の落ち込みが板ガラスの出荷に影響しました。

自動車ガラス部門では、グローバル全体での自動車生産台数は前年同期並みだったものの当社客先の自動車生産台数は堅調に推移したため、部門全体としては、前年同期と比べ増収となりました。

その他ガラス部門は、旭ファイバーグラス社が2006年3月をもって長繊維事業から撤退したため、前年同期と比べ減収となりました。なお、当社は2007年11月1日付で同社の全株式を売却することを決定しました。

以上の結果から、当9ヶ月のガラス事業は、売上高は前年同期比409億円（6.8%）増の6,430億円、営業利益は同196億円（62.3%）増の510億円になりました。

##### ○電子・ディスプレイ事業

電子・ディスプレイ事業は、FPD用ガラス基板やブラウン管（CRT）用ガラスを扱うディスプレイ部門と電子部材部門で構成されています。

ディスプレイ部門のうちFPD用ガラス事業については、薄型テレビ用パネルの需要拡大と当該パネルの大型化の進展、堅調なPC用パネル需要によって、TFT液晶用ガラス基板は出荷が堅調に推移し、前年同期と比べ増収となりました。一方、PDP用ガラス基板の出荷は、本年上期は伸び悩みましたが、7月以降順調に推移しました。CRT用ガラス事業は、FPDへの需要のシフトが加速していることに加えて生産能力削減の影響により前年同期と比べ減収となりました。

電子部材部門については、一部のディスプレイ部材で出荷が伸び悩みましたが、半導体製造装置の投影用レンズ材である合成石英の出荷は引き続き好調に推移しました。中小型ディスプレイは、車載用途は堅調に推移したものの、一部製品を除くモバイル・民生用途の事業縮小や産業用途の不調により、前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当9ヶ月の電子・ディスプレイ事業の売上高は前年同期比295億円（8.1%）減の

3, 345 億円、営業利益は同 177 億円 (29. 3%) 増の 782 億円になりました。

### ○化学事業

化学事業は、苛性ソーダや塩ビモノマーをはじめとするクロールアルカリ製品とウレタン関連素材からなるクロールアルカリ・ウレタン部門、及び、フッ素樹脂、撥水撥油剤等を中心とするフッ素化学製品と電池材料・液晶材料などのスペシャリティ製品からなるフッ素化学・スペシャリティ部門から構成されています。

クロールアルカリ・ウレタン部門は、特に塩ビ関連製品において市況が回復し、原燃材料のコストアップを吸収できたことから、前年同期と比べ業績は改善しました。

フッ素化学・スペシャリティ部門は、フッ素樹脂、フッ素系塗料用樹脂等の出荷が引き続き堅調に推移しました。なお、米国におけるフッ素化学品の生産体制を再編し、2007年12月末までにフッ素樹脂 PTFE 等の生産拠点であるベイヤン工場を閉鎖することを決定しました。

以上の結果から、当9ヶ月の化学事業の売上高は前年同期比 122 億円 (5. 5%) 増の 2, 354 億円、営業利益は同 39 億円 (56. 3%) 増の 109 億円になりました。

### ○その他の事業

その他の事業は、セラミックス事業と、物流・エンジニアリング等のサービス事業から構成されています。

セラミックス事業は、原燃材料コストの高騰が続いたものの、ガラスエンジニアリング分野では欧州・アジアの需要が、また環境エネルギー分野では国内の需要が堅調に推移しました。

その結果、当9ヶ月のその他の事業の売上高は前年同期比 49 億円 (8. 4%) 増の 633 億円、営業利益は同 2 億円 (8. 5%) 減の 21 億円になりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ○総資産

当第3四半期末の総資産は、前期末比 776 億円増の 22, 272 億円となりました。これは、FPD 事業や欧州ガラス事業への設備投資を積極的に行ったため有形固定資産が増加したことなどによるものです。

### ○負債

当第3四半期末の負債は、前期末比 110 億円増の 11, 688 億円となりました。これは、設備投資に対応すべく有利子負債が増加したことなどによるものです。

### ○純資産

当第3四半期末の純資産は、前期末比 666 億円増の 10, 584 億円となりました。これは、当9ヶ月の純利益により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

## 3. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社：AGC インベストメント

米国における関係会社の株式保有及び資金調達を目的として設立しております。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。

**(要約) 四半期連結貸借対照表**

(単位：百万円)

科目	期別 前年同四半期末 平成 18 年 9 月 30 日	当第 3 四半期末 平成 19 年 9 月 30 日	前連結会計年度末 平成 18 年 12 月 31 日
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	719,800	726,520	722,824
現金及び預金	69,979	87,344	80,610
受取手形及び売掛金	317,766	313,493	295,078
たな卸資産	256,812	265,982	248,231
その他の流動資産	82,285	66,964	105,999
貸倒引当金	△7,043	△7,263	△7,095
<b>固定資産</b>	1,460,368	1,500,426	1,426,489
有形固定資産	1,001,584	1,079,066	1,008,116
無形固定資産	104,421	52,375	57,573
投資有価証券	299,508	309,035	311,838
その他の固定資産	59,003	63,060	52,646
貸倒引当金	△4,150	△3,112	△3,685
<b>繰延資産</b>	228	219	232
<b>資産合計</b>	2,180,397	2,227,167	2,149,546
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	656,091	580,075	618,041
支払債務	276,013	256,843	265,546
社債及び短期借入金	223,756	191,368	212,144
その他の流動負債	156,321	131,863	140,351
<b>固定負債</b>	524,241	588,727	539,753
社債及び長期借入金	356,332	415,091	362,735
その他の固定負債	167,909	173,636	177,018
<b>負債合計</b>	1,180,332	1,168,803	1,157,795
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	775,954	820,614	756,424
資本金	90,480	90,842	90,480
資本剰余金	96,569	96,934	96,569
利益剰余金	602,721	646,852	583,176
自己株式	△13,817	△14,014	△13,802
<b>評価・換算差額等</b>	129,677	158,838	154,062
その他有価証券評価差額金	112,898	120,576	123,312
繰延ヘッジ損益	△713	694	△1,038
土地再評価差額金	63	63	63
為替換算調整勘定	17,428	37,503	31,724
<b>新株予約権</b>	0	389	1
<b>少数株主持分</b>	94,431	78,521	81,263
<b>純資産合計</b>	1,000,064	1,058,364	991,751
<b>負債・純資産合計</b>	2,180,397	2,227,167	2,149,546

**(要約) 四半期連結損益計算書**

(単位：百万円、%)

科目	期別	前年同四半期	当第3四半期	増減		前連結会計年度
		平成 18 年 1 月 1 日～ 平成 18 年 9 月 30 日	平成 19 年 1 月 1 日～ 平成 19 年 9 月 30 日	金額	増減率	平成 18 年 1 月 1 日～ 平成 18 年 12 月 31 日
		金額	金額	金額		金額
売上高		1,201,029	1,234,041	33,012	2.7	1,620,540
売上原価		903,167	881,621	△21,546	△2.4	1,217,654
販売費及び一般管理費		196,992	210,277	13,284	6.7	266,274
営業利益		100,868	142,142	41,274	40.9	136,611
営業外収益		15,168	15,047	△121	△0.8	24,906
受取利息及び配当金		4,107	5,080	973	23.7	6,915
持分法による投資利益		2,608	3,908	1,299	49.8	3,326
その他		8,452	6,058	△2,393	△28.3	14,664
営業外費用		17,561	19,652	2,091	11.9	27,019
支払利息等		11,470	13,036	1,565	13.6	16,704
その他		6,090	6,616	525	8.6	10,315
経常利益		98,476	137,538	39,061	39.7	134,498
特別利益		21,984	14,168	△7,816	△35.6	29,388
特別損失		30,070	30,790	720	2.4	125,595
税金等調整前四半期 (当期)純利益		90,390	120,915	30,525	33.8	38,291
法人税等		33,307	36,088	2,780	8.3	6,132
少数株主利益(△損失)		△7,437	1,472	8,910	-	△12,838
四半期(当期)純利益		64,520	83,355	18,834	29.2	44,997

**(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期	当第 3 四半期	前連結会計年度
		平成 18 年 1 月 1 日～ 平成 18 年 9 月 30 日	平成 19 年 1 月 1 日～ 平成 19 年 9 月 30 日	平成 18 年 1 月 1 日～ 平成 18 年 12 月 31 日
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		90,390	120,915	38,291
減価償却費及びのれん償却額		99,016	100,222	133,843
固定資産減損損失		2,762	1,367	45,557
持分法による投資利益		△2,608	△3,908	△3,326
売上債権の減少(△増加)額		△18,195	△26,614	16,908
たな卸資産の減少(△増加)額		△13,479	△13,119	2,990
支払債務の増加(△減少)額		△14,513	4,856	△18,892
その他		24,345	△17,162	28,340
小計		167,716	166,557	243,712
配当金の受取額及び利息の受取、支払額		△7,295	△6,786	△11,152
法人税等の支払、還付額		△53,612	3,118	△58,563
営業活動によるキャッシュ・フロー		106,809	162,889	173,997
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
固定資産等の取得による支出		△161,338	△190,632	△242,121
固定資産等の売却による収入		4,816	19,907	14,456
投資有価証券の取得による支出		△5,932	△772	△6,071
投資有価証券の売却による収入		24,013	10,576	26,378
その他		3,069	△280	△5,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		△135,371	△161,202	△212,477
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
借入金及び社債の増加額		46,426	29,634	56,034
配当金の支払額		△19,932	△22,753	△19,973
その他		△160	△64	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー		26,333	6,815	35,880
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		1,785	△1,231	1,553
<b>V 現金及び現金同等物の増加(△減少)額</b>		△444	7,271	△1,046
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		54,006	52,627	54,006
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の残高調整		△345	△466	△332
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>		53,217	59,432	52,627

## セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

(1) 前年同四半期 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	594,229	363,278	219,292	24,229	1,201,029	—	1,201,029
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,918	677	3,913	34,144	46,653	(46,653)	—
計	602,148	363,955	223,205	58,373	1,247,683	(46,653)	1,201,029
営業費用	570,724	303,523	216,232	56,084	1,146,564	(46,403)	1,100,160
営業利益	31,423	60,432	6,973	2,289	101,118	(249)	100,868

(2) 当第 3 四半期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	639,543	333,128	232,615	28,753	1,234,041	—	1,234,041
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,471	1,342	2,815	34,546	42,176	(42,176)	—
計	643,015	334,470	235,431	63,300	1,276,217	(42,176)	1,234,041
営業費用	592,003	256,317	224,530	61,205	1,134,057	(42,159)	1,091,898
営業利益	51,011	78,153	10,901	2,094	142,160	(17)	142,142

(3) 前連結会計年度 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	806,325	475,786	302,649	35,779	1,620,540	—	1,620,540
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,010	834	4,956	48,344	63,146	(63,146)	—
計	815,335	476,621	307,606	84,123	1,683,687	(63,146)	1,620,540
営業費用	768,850	397,427	299,762	80,820	1,546,860	(62,931)	1,483,928
営業利益	46,485	79,193	7,843	3,303	136,826	(215)	136,611



## 2. 所在地別セグメント情報

(1) 前年同四半期 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	508,654	279,057	149,302	264,014	1,201,029	—	1,201,029
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	152,944	50,345	8,050	1,773	213,114	(213,114)	—
計	661,599	329,402	157,352	265,788	1,414,143	(213,114)	1,201,029
営業費用	596,821	308,320	161,047	242,968	1,309,157	(208,996)	1,100,160
営業利益又は営業損失(△)	64,778	21,081	△3,694	22,820	104,986	(4,117)	100,868

(2) 当第 3 四半期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	501,825	279,593	139,745	312,877	1,234,041	—	1,234,041
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	144,202	55,811	7,585	6,089	213,688	(213,688)	—
計	646,027	335,404	147,331	318,966	1,447,729	(213,688)	1,234,041
営業費用	582,719	297,240	151,400	273,326	1,304,687	(212,788)	1,091,898
営業利益又は営業損失(△)	63,308	38,163	△4,069	45,639	143,042	(899)	142,142

(3) 前連結会計年度 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	695,022	367,076	195,134	363,307	1,620,540	—	1,620,540
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	218,223	69,256	10,256	2,600	300,337	(300,337)	—
計	913,246	436,332	205,390	365,907	1,920,877	(300,337)	1,620,540
営業費用	823,522	411,709	211,574	330,533	1,777,339	(293,410)	1,483,928
営業利益又は営業損失(△)	89,723	24,622	△6,183	35,374	143,538	(6,926)	136,611

**補足資料**

## 1. 当期の業績

(単位：億円)

	平成 18 年度第 3 四半期	平成 19 年度第 3 四半期	平成 18 年度通期
売上高	12,010	12,340	16,205
営業利益	1,009	1,421	1,366
経常利益	985	1,375	1,345
当期純利益	645	834	450
1 株当たり当期純利益 (円)	55.01	71.05	38.37

## 2. 主要項目

(単位：億円)

	平成 18 年度第 3 四半期	平成 19 年度第 3 四半期	平成 18 年度通期
設備投資	1,666	1,794	2,527
減価償却費	931	985	1,259
金融収支	△88	△91	△117

(単位：億円)

	平成 18 年度 第 3 四半期末	平成 19 年度 第 3 四半期末	平成 18 年度末
有利子負債残高	5,808	6,065	5,749
純資産	10,001	10,584	9,918
D/E 比率	0.58	0.57	0.58

## 3. 平成 19 年 12 月期の業績予想等

(単位：億円)

	通期
売上高	16,700
営業利益	1,800
経常利益	1,700
当期純利益	900
設備投資	2,400
減価償却費	1,350
研究開発費	350

※平成 19 年 12 月期中間決算発表時 (平成 19 年 8 月 6 日) の予想から変更はありません。

## 4. 事業セグメント別業績予想

(単位：億円)

	売上高	営業利益
ガラス	8,600	610
電子・ディスプレイ	4,600	1,040
化学	3,200	130
その他	850	20
全社又は消去	△550	0
連結	16,700	1,800

※平成 19 年 12 月期中間決算発表時 (平成 19 年 8 月 6 日) の予想から変更はありません。

## 5. 為替レート

	平成 18 年度第 3 四半期		平成 19 年度第 3 四半期		平成 18 年度通期		平成 19 年度通期
	期中平均	期末	期中平均	期末	期中平均	期末	予想
円/ドル	115.94	117.90	119.27	115.43	116.40	119.11	120
円/ユーロ	144.80	149.77	160.98	163.38	146.87	156.50	162